

キラリ熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

最高位の交通栄誉章『緑十字金章』を受章



埼玉県交通安全協会理事
深谷交通安全協会会長
小暮捷一さん

地域の交通安全を
30年守り続ける

埼玉県交通安全協会理事であり、深谷交通安全協会会長の小暮捷一さんは、長年の地域の交通安全活動への尽力と貢献をたたえられ、交通栄誉章『緑十字金章』を受章しました。『緑十字金章』は、交通安全運動に貢献した個人・団体を警察庁などが表彰する最高位の交通栄誉章であり、小暮さんは、1月に東京都内で行われた交通安全国民運動中央大会で、秋篠宮ご夫妻や石破首相らが出席される中、表彰を受けました。

「子どもたちとのあいさつは、健康の秘訣です。」と語る小暮さんは、青色の回転灯を付けたパトロール車で毎日、子どもたちの登校時間に合わせて八基地区の9カ所を回り、安全に登校できるように交通指導を行う『立哨指導』を実施しています。最初は渋々引き請けたという交通安全活動は、「小暮さんしか居ない。」「困った事があれば俺たちが応援するから。」と、会社員時代の理解ある上司や地元の安全協会の先輩に支えられ、気が付けば30年に。



▲八基小学校の前で立哨指導を行う小暮さんと元気にあいさつをして登校する子どもたち

「子どもたちが不審者から被害を受けたときには、学校やPTAの皆さんと連携して通学路を変えたり、駐在所と協力して1週間張り込みをしたりしました。」と、子どもたちの安全を地域一体となって守り続けた逸話は尽きません。

取材に訪れた早朝、小暮さんの周りには、先生、保護者、お巡りさんが笑顔で自然と集まり、子どもたちの元気なあいさつが響いていました。『あいさつをしていた子が高校生になり、街で声を掛けてくれることもあるんですよ。』と優しく話す小暮さん。活動を通して、小暮さんが地域に注いだ30年の愛は、これからもずっと、地域を温かく包み込みます。

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気で笑顔で参画するまち ふかや
図人権政策課 ☎ 574 - 6643

深谷市女性活躍等推進事業所として、新たに『社会福祉法人両宜会 特別養護老人ホームひびき』、『株式会社モテギ』を認証しました!!



深谷市では、女性の活躍や仕事と家庭の両立支援など、職場における男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けています。

このたび、新たに認証事業所として『社会福祉法人両宜会 特別養護老人ホームひびき』、『株式会社モテギ』の2事業所を認証しました。

深谷市では、今後も女性活躍等を推進する市内事業所を認証し、深谷市の女性活躍と男女共同参画の推進が図られるよう支援していきます。



これまでに『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証した13事業所

深谷赤十字病院 たつみ印刷株式会社 パーカーアサヒ株式会社 三菱電機ホーム機器株式会社
カヤバ株式会社熊谷工場 古郡ホーム株式会社 医療法人好文会 社会福祉法人邑元会あかつき
株式会社UACJ 深谷製造所 社会福祉法人埼玉のぞみの園 株式会社大慶堂
株式会社LIXIL サンウエーブ製作所深谷工場 リケンテクノス株式会社埼玉工場

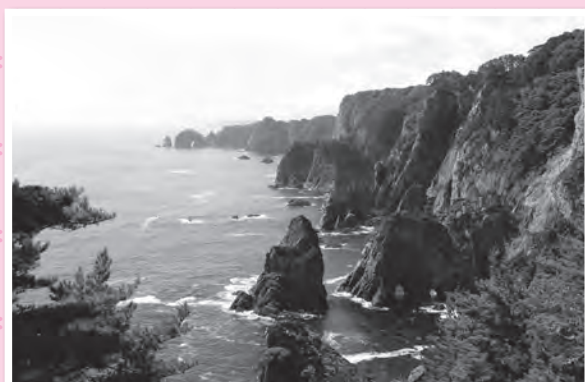
ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩



139 友好都市巡り～岩手県田野畑村編～

今回は、岩手県田野畑村を紹介するよ。鎌倉時代に活躍した武将で、深谷市(旧川本町)で生まれた畠山重忠公の縁で、友好都市になったんだ。海のアルプスともいわれる『北山崎』は、ダイナミックな海岸線が約8キロメートルも続いていて、日本一の海岸美を誇るんだよ!



▲酪農や水産業が盛んで、田野畑村産のワカメは肉厚でシャキシャキしていて高品質なんだよ。とってもおいしいそう!



▲道の駅たのはた『思惟の風』は、農林水産物の直売や食堂だけでなく、古民家を改修した宿泊施設も隣接していて、泊まれる道の駅なんだ。珍しいね。



▲田野畑村は、畠山一族が移り住んだといわれていて、民俗資料館には重忠公が使っていたとされるあぶみ(馬に乗るときに足を乗せる道具)も保管されているよ!

ふっかちゃんの
つ・ぶ・や・き

卒園、卒業の季節。新たな一歩を踏み出そうと準備をしているみんなに、素敵な桜が咲きますようにY(*´ω`*)Y



心の広場

榛沢小学校2年(現3年)
青木 陽さん



たすけあい

ぼくは一年生のときに、六年生にやさしくしてもらいました。

一年生になったばかりでまだなれていなかったときです。まい日学校にいくのがふあんでないでした。

花だんのまえでなえているときに、六年生がきてくれて、「大じょうぶだよ。」

「ランドセルもつよ。」と言ってくれました。それで、きょうしつまでつれていってくれました。そのときぼくはとてもうれしかったです。

ぼくもこまっている人がいたらこえをかけてあげようとおもいました。

二年生になって、学校で一年生がこまっていた、ぼくがこえをかけてあげました。その子が、

「ありがとう。」
と言ってくれました。ありがとうといわれてとてもうれしかったです。もっとこまっている人がいたら、こえをかけてあげようとおもいます。こえをかけて、ありがとうをふやしていきたいです。

みんなでたすけあって、こまっている人がいたらげんきになれるように、どんどんこえをかけていきたいです。

